

令和6年度当初予算（案）主要施策の概要（概）

健康医療局

問合せ先
健康医療局総務室
室長 川上
電話 045-210-4610
企画調整担当課長 赤池
電話 045-210-4612

施策4 地域における持続可能な保健・医療体制の整備

1 地域医療体制の整備・充実

(1) 病床の機能分化・連携や在宅医療の推進

ア 病床の機能分化・連携

15億5,482万円☆

(ア) 回復期病床等転換施設整備費補助

7億2,527万円☆

不足が見込まれる回復期や慢性期の病床確保の取組を推進するため、医療機関の病床転換等に向けた施設整備に対して補助する。

(イ) 病棟等転換準備経費支援事業

3,217万円

不足が見込まれる回復期や慢性期の病床を確保するため、回復期病床への転換等により必要となる看護師の人材確保に係る経費等を補助する。

(ウ) 地域医療構想普及事業費

919万円 (前年比 +361万円)

将来の医療需要の変化に対応できる医療提供体制を構築するため、病床機能の転換等に向けた医療機関に対する支援事業等を行う。

(うち病床機能分化・連携促進事業費 3,162,940円 (前年比 +592,940円))

新 (エ) 県西構想区域病床機能分化・連携推進事業費補助

1,462万円

地域内の病床の機能分化・連携を推進するため、地域医療介護総合確保基金を活用し、県西地域における中核的な医療機関である小田原市立病院の再整備を支援する。

新 (オ) 地域医療介護連携ネットワーク構築費補助

5億 218万円☆

県民への医療・介護をより適切かつ効率的に提供するため、患者の医療・介護情報を地域の医療機関・薬局・介護事業所間でデジタル共有する地域医療介護連携ネットワーク (EHR) を横須賀三浦地域において構築する。また、新たにEHRを構築する地域に対して、地域の協議会の立ち上げ費用を補助する。

(カ) 川崎市立病院再整備事業費補助

2億7,135万円

高齢化の急速な進展に伴う医療需要の増加に対応するため、川崎地域における中核的な医療機関である川崎市立川崎病院の再整備事業に対して補助する。

イ 在宅医療の推進

1億4,531万円☆

在宅医療提供体制を整備するため、在宅医療に従事する人材を育成するとともに、地域の医師会が実施する研修事業等に対して補助する。

新 (ア) 在宅医療提供体制整備費補助

4,560万円☆

増大する在宅医療需要に対応するため、新たに在宅医療に参画する医療機関や、在宅患者の受入強化に取り組む医療機関等が必要となるオンライン診療や見守り支援(患者モニタリング)に活用する情報通信機器の整備等に対して補助する。

新 (イ) 在宅医療退院支援強化事業費補助

4,224万円

入院医療から在宅医療への円滑な移行を促進し、増大する在宅医療需要に対応するため、在宅医療を担う診療所等が「退院支援」に積極的に取り組むために必要となる人件費に対して補助する。